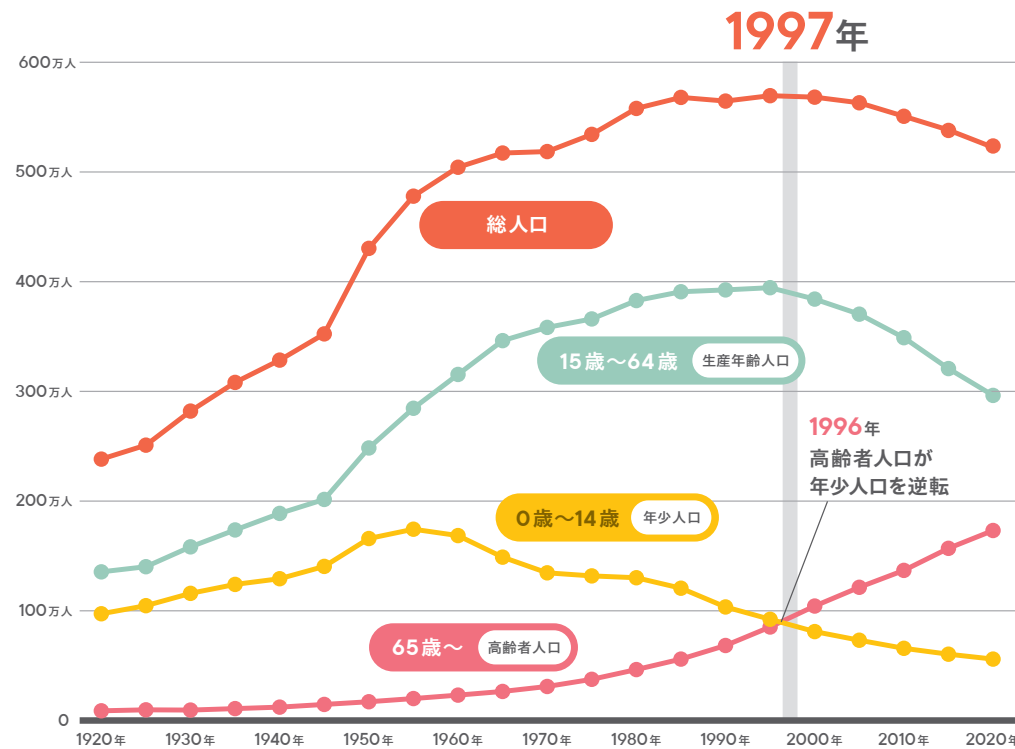


# 北海道の人口はいつから減少している？

- ① 約10年前
- ② 約20年前
- ③ 約30年前

③ 約30年前をピークに減少し続けています。

世界の人口は、2022年に80億人を超えたと国連によって発表されました。これからも増え続けると予測されていて、人口が増え続けることによる、社会や自然に与える影響が問題となっています。一方、日本では、2008年(約1億2,800万人)をピークに人口減少が続いています。私たちが暮らす北海道を見てみると、それよりも10年近く前の、1997年から人口減少が続いています。国の研究機関によると、2040年には、約428万人。2060年には約320万人まで減少し、急速な少子化が、さまざまな社会問題を引き起こすと考えられています。



【年齢3区分別人口の推移(北海道) 総務省「国勢調査」「人口推計」】

# 人口減少が引き起こす問題ってなんだろう？

人口が減ると地方の元気がなくなり、みんなの生活に必要なサービスが少なくなるおそれがあります。

人口減少は様々な社会問題と結びついています。たとえば、地方では、学校や仕事がなければ若い人たちが都会に行ってしまうため、若い人たちが少なくなることにより、地域は生産活動や消費が縮小し、経済力が低下するおそれがあります。

また、働き手が減ることによって、医療や福祉、行政サービスなどの人材不足やサービスの低下、国全体の生産性が落ちることによる経済の縮小にも繋がるおそれがあります。



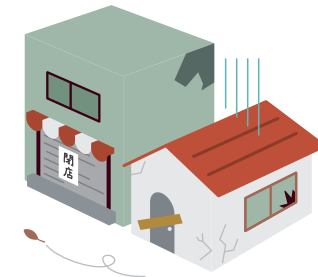
医療や年金、介護に必要な税金が増える。

急速な少子化、超高齢化により、社会全体で支えている制度への負担が大きくなります。



お店や病院など、生活に関連するサービスが少なくなったり、規模が縮小する。

利用者や働く人が減ることで、これまであったサービスを、これまでどおり受けることができなくなってしまうおそれがあります。



空き家、空き店舗、耕作放棄地が増えるなど、様々な管理が難しくなる。

その地域に住む人が減り、空き家、空き店舗などが増え、管理が難しくなったり、道路や水道、電気などを維持することが難しくなってしまう。

# 人口の減少に歯止めをかけるために北海道が行っていることは？



## U・Iターン就職の促進

道外への転出の大きな理由のひとつは、就職です。北海道で就職をするための様々な取り組みをしています。



## 子育てと仕事が両立できる環境づくり

様々な働き方や生活スタイルに合った保育サービスが受けられるように、子育ての環境の充実に向けて取り組んでいます。

北海道に住みたくなる、魅力にあふれた社会を目指しています。

北海道内の人口の減少に歯止めをかけるためには、できる限り道内から出ていく人を減らし入ってくる人を増やす必要があります。そのために、北海道の強みである食や観光、再生可能エネルギーなどを活かした仕事づくりや、産業の育成により、住み続けたい環境をつくとともに、国内だけではなく、海外からも人を呼び込む対策をしています。



## 外国からの働き手の受け入れ

日本人の人口は減少していますが、外国人の人口は増加傾向にあります。安心して働き、暮らすことができる環境づくりに取り組むと共に、その魅力を国内外に情報発信しています。



## 新しい旅行スタイルの推進

北海道の魅力伝えるために、移住体験やワーケーション※などの新しい旅行のスタイルをつくり、移住者を増やします。

※ワーケーション：「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。職場とは異なる場所で、余暇を楽しみつつ、仕事を行うこと。

# 人口が減る中でも、安心して 幸せに暮らし続けられる ために北海道が 行っていることは？

安心して仕事や生活ができる  
取り組みを行っています。

北海道の調査（2023年9月）では、7割以上の人が「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と答えています。そこで、北海道では人口減少への対策として、住み続けたいと思える生活環境づくりを進めてきました。医療や福祉サービスの確保、高齢化や人口減少によって低下したコミュニティの再構築、防災や防犯、働きやすい職場環境など、安心して生活し続けられるための取り組みをしています。



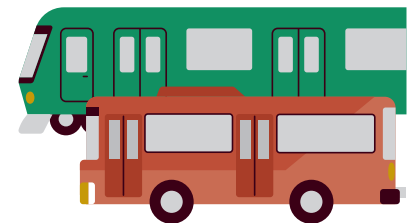
## その人に合った 働きやすい職場環境づくり

女性や高齢者、障がいのある人が働きやすい仕事を増やし、また、その人が希望するスタイルに合った柔軟な働き方の実現に向けて取り組んでいます。



## デジタルを活用した 環境づくり

人口が減る中でも、安心して幸せに暮らし続けられるよう、デジタルの力の活用により社会課題の解決に向けて取り組んでいます。



## 地域公共交通の維持・確保

通学や通院、買い物などといった生活に必要な移動が行えるように、バスや鉄道などの生活交通の維持・確保に向けて取り組んでいます。

# みなさんに 聞ききたいこと

Q1



あなたは、自分が暮らしている地域が、どのような地域であれば、幸せに住み続けられると思いますか。または、住み続けたくありませんか？

Q2



そのような地域にするためには、どのようなことに取り組めば良いと思いますか？